

エールを送る!

IGLで働くひと Interview

考える力を育み未来の即戦力に

はらの ゆうや
教員 原野 雄矢さん

2024年 入職 IGL医療福祉専門学校鍼灸学科の専任教員として勤務。



お仕事の内容を教えてください

IGL医療福祉専門学校鍼灸学科の専任教員として働いています。三年生の公衆衛生学と一年生の解剖生理学Iの授業を担当しています。

日頃から大切にしていることはありますか

学生に考える習慣を身につけさせることを大切にしています。現代はVUCAの時代と言われ、環境の変化が激しくなっています。鍼灸の臨床現場でも、教科書に載っていないような様々な症状の患者さんと遭遇することがあります。そのため、早い段階から学生たちの自分で考える力を養い、現代社会で活躍できるような人材を育成したいと考えています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

相手に伝わるよう工夫することです。専門学校で学ぶことは、専門的な知識がほとんどで、聞きなじみのない言葉が多いです。なので、同じ勉強の内容でも学生によって伝え方を変えてみたり、生徒がイメージしやすいよう普段の生活と絡めて教えてみたりなど、専門的な知識をどの学生にもわかりやすく伝わるよう工夫することを学びました。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

教員1年目で上手いできないことが多々ある私にいつも貴重なアドバイスをいただき、ありがとうございます。教員としてまだまだ未熟ですが、先輩方のような1人前の教員になれるよう精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

上司からのエール!

持ち前の若さを全面的に出し、学生達と真剣に向き合っています。学生達にとっては先輩のような存在で、時にはやさしく、時には厳しく指導をしてくれています。とてもまじめに仕事に取り組む姿勢は、高校時代野球部で過ごした時間がそうさせているのかもしれませんが。教員として何が必要なのかを常に考えながら、これからも精進してもらいたいです。(上司:鍼灸学科科長 南一成さん)



卒業生からのエール!

プロ野球トレーナーの夢を努力して実現

柔整学科
2015年3月卒業
のぶすえ ひろき
信末 洋希さん
広島東洋カープ
1軍コンディショニング担当



高校球児時代にトレーナーの仕事に触れ、将来野球に携わる仕事を志しました。そのため、柔道整復師の国家資格取得を目指しました。

IGL在学中に学んだ解剖学は、卒業後、治療やトレーニング指導の基礎となっています。現場では、トレーニング指導や痛みの改善、リラクゼーションマッサージなどの治療を行います。アスレティックリハビリやストレングス向上のトレーニング、スポーツ障害予防のエクササイズ指導など幅広い業務をこなし、選手の変化を見られることが喜びです。

今後も最新の医学や情報を学び、選手に信頼されるトレーナーを目指します。



専門学校事業 Topics 5月~8月

PICK UP! 7月19日、IGLスポーツフェスタ2024開催!

7月19日マエダハウジング東区スポーツセンターにて、スポーツフェスタを開催しました。歯科衛生・介護福祉・鍼灸・柔整・日本語・国際教養コミュニケーション学科の学生が一堂に会し、様々な競技に取り組みました。中でも一番白熱したのは、男子バレーボールで、決勝戦ではコートで戦う学生たちと、声をからして応援するチームの皆が一丸となり、体育館の中の一体感は最高潮!! 次の学校行事の「学園祭」も楽しみですね。



もっと知って、IGL!

心・知識・技術を備えた医療福祉のスペシャリストを育成する専門学校。在校生が感じる“愛とつながり”の推しポイントをPick Up!

IGLのココが推しポイント 1

#先生との距離が近い!

在校生に「IGLに入学してよかったこと」をインタビューすると、多くの学生が「先生との距離の近さ」と答えます。

「授業についていけないか不安」「試験をパスできるか心配」といった不安や悩みを抱いたとき、IGLには先生に相談できる環境があります。先生は学生が理解できるまで親身にサポートします!



IGLの国家資格者養成 2大特色

オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報



ホームページ

1. 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!

2. 豊富な実習先と連携。

医療福祉4学科の就職率は毎年100%! 専門学校の情報はIGL YouTube CHANNELでご確認ください! ▶

